

野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る 対応技術マニュアル

目次

I. 野鳥のサーベイランス（調査）の概要.....	1
I.1. 野鳥におけるサーベイランス（調査）の概要.....	3
I.1.1. はじめに.....	3
I.1.2. 調査の目的.....	4
I.1.3. 対応レベル及びリスク種の設定と調査の概要.....	6
I.1.4. 野鳥の感染リスクの考え方.....	10
II. 高病原性鳥インフルエンザに備えて（対応編）.....	11
II.1. 対応レベル1（通常時）.....	13
II.1.1. 鳥類生息状況等調査.....	13
II.1.2. 死亡野鳥等調査.....	14
II.1.2.1. 死亡個体の回収と回収地点の消毒.....	14
II.1.2.2. 簡易検査の実施.....	15
II.1.2.3. 遺伝子検査及び確定検査.....	16
II.1.3. 糞便採取調査.....	19
II.1.4. 危機管理体制の構築.....	20
II.2. 対応レベル2～（発生時）.....	22
II.2.1. 全国での対応（対応レベル2～3）.....	22
II.2.1.1. 鳥類生息状況等調査及び死亡野鳥等調査の強化.....	22
II.2.2. 発生地での対応（野鳥監視重点区域）.....	22
II.2.2.1. 発生地周辺での調査（鳥類生息状況等調査及び死亡野鳥等調査）.....	22
II.2.2.2. 発生地周辺での対応（基本的事項）.....	23
II.2.2.3. 集団渡来地などで発生した場合の対応.....	23
II.2.2.4. 公表.....	26
II.2.2.5. 感染症法に基づく届出.....	27
II.2.2.6. 接触者への調査等.....	28
II.2.2.7. 周辺住民への対応.....	29
II.2.3. 家きんで発生した場合の鳥獣行政担当部局の対応.....	29
II.2.4. 保護収容施設等（鳥獣保護センター等）での対応.....	30
II.2.4.1. 受け入れ.....	31
II.2.4.2. 発生時の収容鳥類等への対応.....	33
II.2.4.3. 通常時の防疫体制について.....	34
III. 調査の準備と方法（調査編）.....	35
III.1. 鳥類生息状況等調査.....	37
III.1.1. 野鳥の異常の監視.....	37

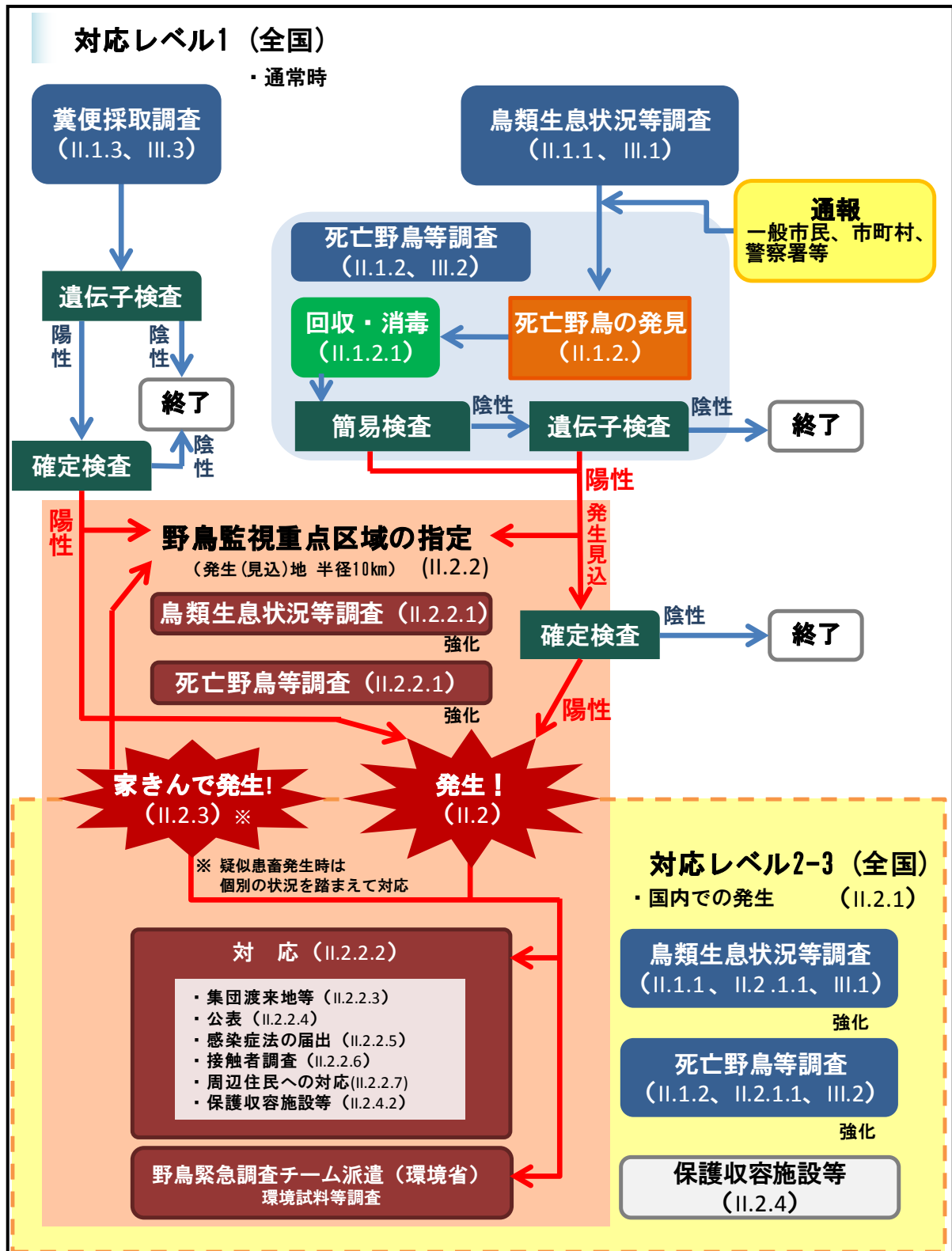
III.1.2. 鳥類生息状況等調査の準備.....	40
III.1.3. 鳥類相調査の方法.....	41
III.2. 死亡野鳥等調査.....	42
III.2.1. 死亡野鳥等調査の流れ.....	42
III.2.2. 死亡野鳥等調査の準備.....	43
III.2.3. 死亡野鳥等調査の方法.....	47
III.3. 糞便採取調査.....	56
III.3.1. 糞便採取調査の流れ.....	56
III.3.2. 糞便採取調査の準備.....	57
III.3.3. 糞便採取調査の方法.....	59
III.4. 環境試料等調査.....	66
IV. 高病原性鳥インフルエンザと野鳥について（情報編）.....	67
IV.1. 高病原性鳥インフルエンザとは.....	69
IV.1.1. 高病原性鳥インフルエンザの定義.....	69
IV.1.2. 血清亜型（H5N1）とは？ーインフルエンザウイルスの構造の概要.....	70
IV.1.3. 家さんの疾病と感染様式.....	71
IV.2. 高病原性鳥インフルエンザと野生動物との関わり.....	72
IV.2.1. 野鳥と高病原性鳥インフルエンザ.....	72
IV.2.2. 哺乳類への感染.....	73
IV.3. 野鳥におけるウイルス検査方法.....	75
IV.3.1. 検査方法の種類.....	75
IV.3.2. 簡易検査.....	75
IV.3.3. 遺伝子検査.....	76
IV.3.4. 確定検査.....	77
IV.4. 野鳥との接し方について（一般の方への情報発信の例）.....	79
IV.5. 日本の渡り鳥.....	80
IV.6. 国内の野鳥における過去の調査結果について.....	88
IV.6.1. 過去の調査結果.....	88
IV.6.2. 死亡野鳥等調査結果（平成 22 年 10 月～平成 23 年 5 月）.....	89
IV.7. 野鳥を用いた感染実験で示された種による感受性の差について.....	92
IV.8. 野鳥の H5N1 亜型鳥インフルエンザ感染における臨床症状と肉眼病理所見.....	96
参考資料.....	97
参考資料 1 鳥インフルエンザ発生時の接触者等への調査.....	99
参考資料 2 野鳥における鳥インフルエンザ（H5N1）の発生への対応について（厚生労働省）.....	107
参考資料 3 インターネット上の情報源.....	113

図表一覧

表 I-1	発生状況に応じた対応レベルの概要	6
表 I-2	対応レベルの実施内容	6
表 I-3	リスク種	8
表 III-1	各種調査に共通して必要な機材等	40
表 III-2	鳥類相調査に必要な機材等	40
表 III-3	死亡野鳥等調査に必要な機材等	44
表 III-4	死亡野鳥等調査用紙（様式1）	46
表 III-5	糞便採取調査に必要な機材等（1調査当たり）	58
表 III-6	定期糞便調査実施計画（47都道府県 53地区）	62
表 III-7	糞便採取調査用紙（様式2）	63
表 IV-1	鳥インフルエンザの呼び方	70
表 IV-2	過去のウイルス保有状況調査結果総括表	88
表 IV-3	死亡野鳥等調査検査結果集計	89
表 IV-4	死亡野鳥調査で回収された鳥類の種と数	91
表 IV-5	野鳥を使った H5N1 亜型鳥インフルエンザウイルス感染実験の結果概要	93
図 II-1	検査の流れと都道府県の役割	15
図 II-2	野鳥異常死対応フロー（イメージ）	21
図 III-1	死亡野鳥等調査の流れ	42
図 III-2	カテゴリーB の包装例	45
図 III-3	踏み込み消毒槽の作り方	49
図 III-4	試料（スワブ）採取の方法	51
図 III-5	気管スワブ（口腔咽頭スワブ）を採取する部位	51
図 III-6	簡易検査キットの陽性例	52
図 III-7	死亡野鳥のスワブの送付方法	53
図 III-8	糞便採取調査の流れ	56
図 III-9	ボートから岸辺の糞便を採取	59
図 III-10	ヌートリアの糞便	59
図 III-11	糞便資料の送付方法	61
図 III-12	鳥類の糞便の性状	64
図 III-13	糞便採取の手順	65
図 IV-1	インフルエンザウイルスの構造模式図	71
図 IV-2	野鳥と高病原性鳥インフルエンザ	72
図 IV-3	日本における渡り鳥（イメージ）	80
図 IV-4	オオハクチョウの渡りと時期	82
図 IV-5	コハクチョウの渡りと時期	83
図 IV-6	マガモの渡りと時期	84

図 IV-7	ヒドリガモの渡りと時期.....	85
図 IV-8	オナガガモの渡りと時期.....	86
図 IV-9	オナガガモの外国放鳥国内回収.....	87
図 IV-10	野鳥回収数とウイルス陽性野鳥個体数の推移（平成 22 年 10 月～平成	89
図 IV-11	全国の種類別回収数の推移.....	89
図 IV-12	野鳥において高病原性鳥インフルエンザが確認された道府県.....	90
図 IV-13	カモ類の感染実験における咽頭スワブからのウイルス排出量.....	93
図 IV-14	H5N1 亜型鳥インフルエンザウイルスに感染した野鳥の症状や病変の例.....	96
参考 1	手袋とマスクについて.....	45
参考 2	国連規格輸送用容器について.....	45
参考 3	消石灰の使い方.....	48
参考 4	消毒方法と消毒薬について.....	49
参考 5	特定家畜伝染病防疫指針（平成 23 年 10 月変更案）の定義.....	69

野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る
都道府県鳥獣行政担当部局等の対応フロー



※（ ）は本マニュアルの該当項目